

12月4日

惠南商工会が全国商工会連合会会長表彰

11月15日に東京都で開催された第58回商工会全国大会で、惠那市惠南商工会が全国商工会連合会会長表彰を受賞しました。同商工会は、事業推進優良商工会等表彰(商工会法施行55周年特別部門)で、経営発達支援計画の認定に伴う経営発達支援事業の実施について表彰されました。また、事業推進優良商工会等表彰(共済部門)でも、優良商工会等(都道府県商工会連合会推薦枠)として表彰されました。

この日、市役所で報告会が行われました。市惠南商工会副会長の三輪哲司さんは「全国の商工会から認められたことは大変ありがたい」と話しました。



12月1日

シクラメンが惠那駅前を彩る

惠那駅前「シクラメンまつり」が開催され、大勢の人が色とりどりのシクラメンに目を留め、買い求めました。

シクラメンの国内栽培発祥の地として知られる惠那市。惠那市が全国に誇るシクラメンを広くPRしようと、惠那中央通り商店街振興組合「シクラメンまつり」実行委員会が毎年開催し、25回目を迎えました。

この日並んだ赤やピンク、白などのシクラメンは1,000鉢。すべて市内で栽培されたもので、大きさにより4号鉢や5号鉢に分けて販売されました。大井町の三尾田鶴子さんは「毎年欲しくて買いに来ています。玄関に飾りたい」と話しました。



11月30日

はつらつ働ける職場づくりを宣言

市役所で「働き方改革推進事業所の取り組み宣言式」が行われました。

厚生労働省岐阜労働局と公益社団法人岐阜県労働基準協会連合会は「新はつらつ職場づくり宣言」事業を実施しています。これは、事業所が時間外労働の減少やノー残業デーの制定、各種休暇を積極的に取得できる職場づくりなど、自分たちに合った宣言書を作成し登録を行うもの。市内での登録事業所数は34事業所になりました。

この日の宣言式では、市内の登録事業所を代表して、明知ガイシ株式会社の秋山真一労務課長が「適切な労働管理に努めます」などの取り組み内容を宣言しました。



11月20日

高校生が給食の献立を考案し交流

惠那農業高等学校食品科学科2年生と、惠那南高等学校福祉保育系列2年生、3年生が考案した学校給食の献立を通じて、児童へ地域の農作物や食文化などを直接伝える実食交流会が開催されました。

大井第二小学校3年生から6年生の児童と、明智小学校全校児童を対象に実施。大井第二小学校では「惠那の栗入り味ご飯」などを考案した惠那農業高等学校の生徒40人が、地域の特産物や、地産地消について児童に説明をしました。分かりやすく丁寧な説明に、授業は楽しく進みました。生徒と児童は、一緒に考案した献立を食べ、交流を図りました。



12月7日

長島小がみどりの奨励賞を受賞

長島小学校の緑の少年団が「みどりの奨励賞(国土緑化推進機構理事長賞)」を受賞し、大畑教育長へ受賞を報告しました。

これは、11月17日に八王子市(東京都)で開催された「全国緑の少年団活動発表会」に長島小学校が参加した際、5年生全員で総合的な学習の時間を使って、学校林で森の健康診断など林業体験をしたことを発表し、評価されたものです。

報告に訪れた原和樹君(6年生)は「全国で選ばれて、貴重な体験ができて嬉しかったです」と、野添菜々美さん(6年生)は「自分たちが5年生の時に行った活動で表彰されて良かったです」と話しました。



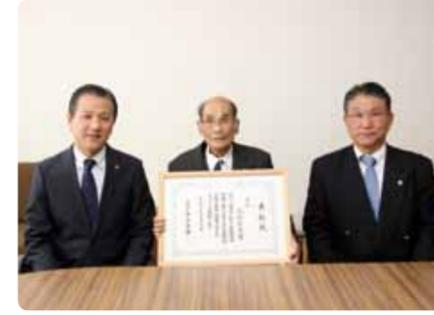
12月1日

IT専門家と地元事業者が交流

明智町の惠那市惠南商工会で「惠那ITアイデアソン」が開催されました。

アイデアソンとは、アイデアとマラソンを組み合わせた造語で、新しいアイデアを生み出すために行われるイベント。市内事業者とIT専門家が交流することで、新たな事業のヒントを得てもらおうと、市惠南商工会が主催しました。

この日、全国から34人のIT専門家が来訪。農業や飲食業、旅館業などの事業者は13のグループに分かれ、IT専門家から現地調査を踏まえたアドバイスを聞きながら、ITを活用した販売促進や商品開発のアイデアを出し合いました。



11月30日

伝統文化継承者として顕彰

本年度の岐阜県伝統文化継承者顕彰を受賞した丸山安夫さんが、受賞報告に市役所を訪れました。

丸山さんは山岡町在住で現在89歳。昭和33年から山岡町を中心に華道の講師を務め、華道の普及や指導に尽力しています。同顕彰は、日本舞踊や民俗芸能など伝統文化の保存継承に尽力した75歳以上で活動歴50年以上の人を対象とし、本年度は27人が受賞しました。

丸山さんは「華道は夢中になって打ち込めることが良いです。これからも命ある限り、精いっぱい華道に取り組んでいきます」と話しました。



11月26日

惠那川上屋と南高校が地産地消で表彰

農林水産省と全国地産地消推進協議会が行っている、地産地消等優良活動表彰で、株式会社惠那川上屋が食品産業部門で農林水産大臣賞を、惠那南高等学校が教育関係部門で農林水産省食料産業局長賞を受賞しました。この日、市役所で受賞報告会が行われました。

両者と市は、平成28年度に3者間連携協定を結び、農業から加工、販売までを学ぶカリキュラムにより、栗の栽培や加工、販売(商品化)に取り組んでいます。創意工夫ある地産地消や、国産農林水産物の消費拡大に資する優れた取り組みであることが評価され、今回の受賞となりました。